

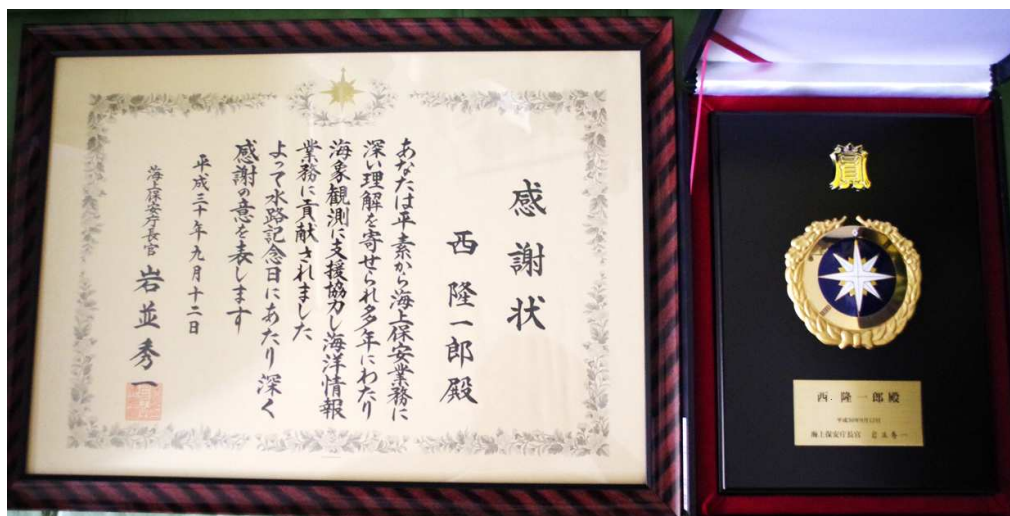
水産学部の西教授が第147回水路記念日に伴う海上保安庁長官表彰を受賞

平成30年9月14日、霞ヶ関の海上保安庁長官室で、岩並海上保安庁長官から「海洋情報業務（海の調査や海洋情報の提供）への貢献」に対して、水産学部 西 隆一郎（にしりゅういちろう）教授が、第147回水路記念日に伴う海上保安庁長官表彰を受賞されました。

平成30年9月12日（水）は、明治4年（1871年）9月12日に兵部省海軍部水路局が誕生し、我が国の海図作製が開始されてから147回目の水路記念日です。平成30年9月上旬に、海上保安庁から水産学部海岸環境工学研究室に、「貴殿の海洋情報業務に対する多大な貢献を讃え、感謝状を送り、感謝の意を表したいと存じます。」との案内があったものです。西教授は、「海の研究に携わる者としては、とても光栄な知らせであると同時に、海洋調査の現場で苦労を分かち合った学生さん達（工学部；海工学講座、水産学部；海岸環境工学研究室）の顔を思い浮かべたところです。表彰後の懇談では、海上保安庁の岩並長官をはじめとする幹部の方々や、離岸流調査で知り合った旧知の方々と懇談でき、関係者の皆様方には、感謝の念を十分に伝えきれておりませんが、深甚の謝意を表させていただきたいと存じます。」と述べられました。



岩並海上保安庁長官および幹部の方々との記念写真（海上保安庁提供）



授与された感謝状と盾